

令和7年8月・9月 前半分青果物使用品名と産地(8/29～9/14)

～生産(地)の状況～

猛暑, 干ばつ, 大雨の被害で青果物への影響も大きいと予想される。北海道の野菜も環境の変化により, 秋野菜だけでなく来年春まで影響が出そうで懸念している。

じゃがいもは, 長年お世話になってる大正のメイクインもかなり小玉で収量減である。L玉以上のサイズが少なく, 価格も高騰しているので, 特Mの使用も検討してほしい。人参も干ばつの影響を受けていて, 10月以降も畑を厳選していく必要がある。玉ねぎも同様に, 品質が心配である。年明けは少くなると予想される。トマトは阿蘇地区で生産されたものが酷暑の影響で, 小玉中心となるが, 9月後半はよくなるのではないかと見込んでいる。梨についても小玉が多く, 味が薄いかもしれない。

No	品名	産地
1	じゃがいも	北海道産
2	人参	北海道産
3	キャベツ	熊本県・群馬県産
4	玉ねぎ	北海道産
5	もやし(小)	熊本市産
6	もやし(大)	大分県産
7	ピーマン	熊本県産・大分県産
8	パプリカ(赤・黄)	熊本県・九州産
9	トマト	熊本県産
10	胡瓜	熊本県産
11	ごぼう	鹿児島県・青森県産
12	白ネギ	熊本県・九州・北海道産
13	チンゲン菜	熊本県・九州産
14	小松菜	熊本市・九州産
15	にら	熊本市・宮崎県産
16	パセリ	熊本県・九州産

No	品名	産地
17	セロリ	長野県産
18	レタス	長野県産
19	洗いレンコン	熊本市産
20	白菜	長野県産
21	大根	青森県・北海道産
22	にんじく	青森県産
23	生姜	熊本県・長崎県産
24	南瓜	北海道産
25	えのきだけ	長崎県産
26	本しめじ	福岡県産
27	エリンギ	長崎県産
28	冬瓜	鹿児島県・長崎県・岡山県産
29	バナナ	フィリピン産
30	梨	熊本市産
31	巨峰	大分県産

食材の主な産地が, 原子力災害対策本部が出した「検査計画, 出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」の対象(放射性物質検査対象地域)自治体1都16県のものには, 食品中の放射性セシウムスクリーニング法(厚生労働省)に準拠して, 本市においても検査を実施しています。

※検査結果は, 不検出でした。(測定下限値はセシウム-134, セシウム-137合計で25Bq/Kgです。)

※産地は, 天候等の影響で変更になる場合があります。